

simc News Letter

Sendai International Music Competition

仙台国際音楽コンクールニュースレター

第7回仙台国際音楽コンクール【開催日程】ピアノ部門:2019.5.25(土)～6.9(日) ヴァイオリン部門:2019.6.15(土)～6.30(日)

第7回仙台国際音楽コンクール ピアノ部門セミファイナル演奏レポート 第2日目

ピアノ部門セミファイナル
2019年5月31日(金)～6月2日(日)
日立システムズホール仙台
6月1日(土)セミファイナル第2日 14:00～

萩谷由喜子(音楽評論家)



8. バロン・フェンウィク アメリカ

ベートーヴェン / ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 op.37

バロン・フェンウィクは今年24歳のアメリカ青年。第1呈示部の間、心を鎮めながら曲に入り込んでいこうとしている様子が伝わってくる。いよいよソロの出番が来た。3つの上昇句を克明に彫りつけて第1主題を開始。第2主題も明瞭な音で弾いたが、第1主題の気分があまり払拭されておらず、両主題の性格の対照性をもう少し際立たせてもよさそうだ。ともあれ、弾き進むうちにだんだんと自分のベースが確立され、高度なテクニックを存分に発揮してよくピアノを鳴らした。特に、高音部で第2主題を弾く部分など、音がカラフルで輝かしい。この人はベートーヴェンよりもショパンやリスト、あるいはラヴェルなどに向いているのかも知れない。第2楽章では思い入れを強め、ためを利かせた粘りのある語り口で深い陰影を表出した。この楽章では美しい弱音も聴かせてくれた。フィナーレではオーケストラとの応答の呼吸もぴたりと揃い、力感溢れるコードで力強く全曲を結んだ。



12. 平間 今日志郎 日本

ベートーヴェン / ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 op.37

平間今日志郎は1998年生まれだからまだ20歳か21歳。90年代前半生まれの多いセミ・ファイナリストの中では若いほうだが、非常に成熟した大人の音楽を構築するピアニストという印象を受けた。ベートーヴェンをどう弾くかという位置づけが明快で、よけいな表情付けやアクセントの強調もなく、テンポの恣意的な操作もない。このように、弾き方に癖がなく、打鍵技術にも優れて一音一音が明晰に鳴るので、全体として古典派らしい端正な音楽が紡がれた。第2楽章では、ベートーヴェンが内蔵した美しいハーモニーを充分に引き出しながらたっぷりと歌った。ことに、フルートを従えて幅広いアルペッジョを上下させる部分は、この楽章の高雅な抒情性を再認識させられるほどの美しさだった。弾き惜しむようにテンポを落としていき、最後の一言の余韻を大切にフィナーレへの導入もあざやかなもの。そのフィナーレでは気分を一新し、快活な音楽を生き生きと繰り広げた。



■お問い合わせ先／公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel: 022-727-1872 Fax: 022-727-1873 E-mail: info@simc.jp URL: https://simc.jp



4. チェ・ホンロク 韓国

ベートーヴェン / ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 op.58

チェ・ホンロクは1993年生まれの韓国青年。さほど長髪ではないが、演奏の邪魔にならないように髪を後ろで一つに結んで登場した姿は古武士風だ。しばし無念無想ののち、心を決めて曲を開始した。和音も「叩くモチーフ」も非常に静かに鳴らし、手堅く遅めのテンポで進めていく。まじめな性格らしく、きちんと堅実に弾くが、ところどころ個性が出て、独特の歌いまわしが聴かれた。やや重くなるというか、濃厚になるというか、こだわりの表現が感じられる。そうした主張を出すのはよいかも知れないが、もう少しあっさり通過してほしい場面もあった。カデンツァは彼の力量が十全に発揮された感があり、「叩くモチーフ」の扱いも巧みなら、ダイナミクスもきめ細かくつけられ、倍音もよく響いて、聴き応えのある音楽が展開された。第2楽章では威圧的なオーケストラに対して清楚な音で応答して対話の妙を浮き彫りにし、フィナーレでは、軽快さには欠けるが完成度の高さをみせた。



10. ハン・キュホ 韓国

ベートーヴェン / ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 op.58

ハン・キュホもチェ・ホンロクと同じく1993年生まれの韓国青年。曲も同じ第4番を選んでいるが、聴いた印象はかなり異なった。この人はしなやかな身体性を持っていて、それが演奏におおいに反映されている。体全体で表現するタイプのピアニストである。イメージもゆたかで、ここはこう、そこはこう、と音楽の単位ごとに一つも物語を構築して完結させ、それを聴き手に伝えてくる。ドラマの語り手として優れており、自分の感じたことを自由に表現している点は評価されてよいだろう。ベートーヴェンよりもむしろ、ロマン派向きではなかろうか。それからもうひとつ、フレーズの入りにフライングがない点も立派だった。惜しむらくは、表現に熱中するあまりだろうか、指のコントロールが行き届かず、粒のやや不揃いなパッセージがあった点と、フィナーレにミスが散見された点であろう。しかしながら、感情移入ゆたかに自分を出し切って精一杯の演奏を届けてくれたと思う。

♪コンクールの演奏をYouTubeでお楽しみいただけます。

第7回仙台国際音楽コンクールでは、両部門の予選からガラコンサートまでの全演奏のライブ配信を行います。また、演奏日の翌日から9月30日(月)まで期間限定でオンデマンド配信も行いますので、ぜひご視聴ください。
simc.jp/7th_competition/

♪最新情報はFacebook、twitterから!!

仙台国際音楽コンクール公式Facebook、twitterでも最新情報を配信しております。
Facebook: @SendaiInternationalMusicCompetition
twitter : @sendai_simc

第7回コンクール チケット情報

ー プレイガイド ー

仙台国際音楽コンクール
公式サイト、
日立システムズホール仙台、
仙台銀行ホール イズミティ21
ローソンチケット、
チケットぴあ、仙台三越

※詳細は公式サイト
<https://simc.jp>を
ご覧ください。

	ピアノ部門	ヴァイオリン部門	座席	料金
予選	5/25 (土) 販売終了 5/26 (日) 販売終了 5/27 (月) 販売終了	6/15 (土) 12:30～ 6/16 (日) 12:30～ 6/17 (月) 10:30～	全席自由 日時指定	1,000円
セミファイナル	5/31 (金) 販売終了 6/ 1 (土) 販売終了 6/ 2 (日) 14:00～	6/21 (金) 18:00～ 6/22 (土) 14:00～ 6/23 (日) 14:00～	全席指定	S席 3,000円 A席 2,000円
ファイナル	6/ 6 (木) 18:30～ 6/ 7 (金) 18:30～ 6/ 8 (土) 完売	6/27 (木) 18:30～ 6/28 (金) 18:30～ 6/29 (土) 15:00～	全席指定	S席 3,000円 A席 2,000円
入賞者記念 ガラコンサート	6/ 9 (日) 完売	6/30 (日) 14:00～	全席指定	S席 4,000円 A席 3,000円
審査委員による マスタークラス聴講券	6/ 3 (月) 13:00～ 6/ 4 (火) 13:00～	6/24 (月) 11:00～ 6/25 (火) 11:00～	全席自由 日時指定	一般 1,000円 学生 500円



■お問い合わせ先／公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel: 022-727-1872 Fax: 022-727-1873 E-mail: info@simc.jp URL: https://simc.jp